

## 令和3年第1回定例会を開催しました

- 令和3年度一般会計予算を可決しました。
- 会派代表質問を行いました。

土浦市議会では、3月定例会(第1回)に、会派を代表した議員が質問を行う会派代表質問を行っています。

郁政  
クラブ

政新会

公明党  
土浦市議団

日本共産党  
土浦市議団

## ○8名の議員が3日間にわたり一般質問を行いました。

市政全般について8名の議員が質問を行いました。(5～7ページ)

令和3年3月8日

・柏村忠志 ・奥谷崇

令和3年3月9日

・鈴木一彦 ・目黒英一 ・今野貴子 ・田子優奈 ・矢口勝雄

令和3年3月10日

・塚原圭二



### 目次

●表紙	1
●令和3年第1回定例会の結果	2・3
●会派代表質問	
郁政クラブ	4
政新会	4
公明党土浦市議団	4
日本共産党土浦市議団	4
●一般質問	
柏村忠志・奥谷崇・鈴木一彦	5
目黒英一・今野貴子・田子優奈	6
矢口勝雄・塚原圭二	7
●令和3年第2回定例会(6月)の日程(予定)	8
●編集後記	8

### <インターネットで市議会の様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

### <議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

○土浦市立図書館                      ○各中学校区の地区公民館  
○支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)  
※最新となる会議録(令和3年第1回)は、5月下旬に閲覧可能となります。



# 第1回土浦市議会定例会を開催しました

条例に関する議案等40件を原案可決

令和3年第1回定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開催し、土浦市手数料条例の一部改正や、土浦市監査委員の選任の同意についてなどの市長から提出された議案の審議を行い、原案どおり可決、同意しました。また、委員会から提出された委員会議案4件について、原案どおり可決しました。

会派代表質問は、4人が登壇

2人以上が所属する会派を代表した議員4人が市政一般について会派代表質問を行いました。

一般質問は、8人が登壇

コロナ禍の中、市議会是一般質問を行う議員数を制限し、8人の議員が市執行部に対し、市政一般について質問しました。



議案質疑

久松 猛 議員

議案第14号 令和3年度土浦市一般会計予算第9款第5項社会教育費第1目社会教育総務費第7節報償費・コミュニケーション・スクール導入費の内容について

討論

久松 猛 議員

議案第7号 土浦市介護保険条例の一部改正について (反対)

予算編成の基本方針

国においては、国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策を通じて、雇用と事業を支えながら新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現を図り、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を進めるとしつつも、経済財政運営と改革の基本方針2020等を踏まえ、2025年度のプライマリーバランスの黒字化目標等の達成に向けて、引き続き、これまでの歳出改革の取組を継続することとしています。本市においては、歳入では感染症拡大の影響による市税の減が見込まれるとともに、歳出では雇用環境悪化や少子高齢化に伴う社会保障関係費のほか、これまでの大規模事業に伴う公債費が増加し、非常に厳しい財政状況が見込まれます。そのような中、令和3年度予算編成に当たっては、ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、いかにして「夢のある、元気のある土浦」の実現を図っていくかを見据え、改めて事業の抜本的な見直しに取り組み一方で、大きな歩を踏み出し、未来に向かう予算を編成しました。

一般会計	497億2,000万円
特別会計	410億8,000万円
合計	908億円

令和3年度  
土浦市一般会計  
予算を決定

議長就任のごあいさつ



議長 小坂 博

第五十代土浦市議会議長に就任いたしました小坂 博です。

令和3年3月定例会におきまして、議長に選出されたいただき、責任の重さに、改めて身の引き締まる思いがいたします。

市議会は予算、条例など市民生活にかかわる施策を決定する議決機関でありますことから、市民の皆様の声の的確に市政に反映させ、様々な課題の解決に全力で取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民生活に大きな影響を与えております。土浦市民の生命や生活を守るため、引き続き感染拡大防止に努めてまいります。

今後の市議会運営は、温故知新、古きをたずねて新しきを知る。原点にかえり歴史、過去を学ぶことは未来を知ることだと考えております。

市民の皆様のご協力のもと、伝統ある土浦市議会でのさらなる改革と開かれた議会を目指し、そして、市民の皆さまの声を市政に反映させるべく全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	3.3.2	3.3.2	原案可決
受理番号1	35人学級を早急に実現し、さらなる少人数学級の実現を求める意見書に関する陳情書	3.3.2	3.3.23	採 択
受理番号2	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	3.3.2	3.3.23	採 択
報告第1号	専決処分の承認について(土浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について)	3.3.2	3.3.2	承 認
報告第2号	専決処分の承認について(土浦市国民健康保険税条例及び土浦市国民健康保険条例の一部改正について)	3.3.2	3.3.2	承 認
報告第3号	専決処分の承認について(令和2年度土浦市一般会計補正予算(第13回))	3.3.2	3.3.2	承 認
報告第4号	専決処分の承認について(令和2年度土浦市一般会計補正予算(第14回))	3.3.2	3.3.2	承 認
報告第5号	専決処分の報告について(和解について)	3.3.2	3.3.2	報 告
報告第6号	専決処分の報告について(和解について)	3.3.2	3.3.2	報 告
報告第7号	専決処分の報告について(和解について)	3.3.2	3.3.2	報 告
議案第1号	土浦市手数料条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第2号	土浦市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第3号	土浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第4号	土浦市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第5号	土浦市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第6号	土浦市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第7号	土浦市介護保険条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第8号	土浦市における土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第9号	土浦市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第10号	土浦市建築基準条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第11号	土浦市水道事業給水条例の一部改正について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第12号	土浦市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第13号	土浦市子どもランド条例の制定について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第14号	令和3年度土浦市一般会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第15号	令和3年度土浦市公共用地先行取得事業特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第16号	令和3年度土浦市駐車場事業特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第17号	令和3年度土浦市国民健康保険特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第18号	令和3年度土浦市後期高齢者医療特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第19号	令和3年度土浦市介護保険特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第20号	令和3年度土浦市農業集落排水事業特別会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第21号	令和3年度土浦市下水道事業会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第22号	令和3年度土浦市水道事業会計予算	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第23号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第15回)	3.3.2	3.3.2	原案可決
議案第24号	常磐線土浦・神立間69K340M付近横断水路新設工事の施工協定の一部を変更する協定の締結について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第25号	市道の路線の認定について	3.3.2	3.3.23	原案可決
議案第26号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第16回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第27号	令和2年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第28号	令和2年度土浦市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第29号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第17回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第30号	令和2年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第31号	令和2年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第32号	令和2年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第33号	令和2年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第3回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第34号	令和2年度土浦市下水道事業会計補正予算(第3回)	3.3.10	3.3.23	原案可決
議案第35号	土浦市教育委員会教育長の任命の同意について	3.3.23	3.3.23	原案同意
議案第36号	土浦市監査委員の選任の同意について	3.3.23	3.3.23	原案同意
	土浦市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	3.3.23	3.3.23	選 挙
委員会提出議案第1号	35人学級を早急に実現し、さらなる少人数学級の実現を求める意見書について	3.3.23	3.3.23	原案可決
委員会提出議案第2号	最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書について	3.3.23	3.3.23	原案可決
委員会提出議案第3号	土浦市議会会議規則の一部を改正する規則について	3.3.23	3.3.23	原案可決
委員会提出議案第4号	土浦市議会委員会条例の一部改正について	3.3.23	3.3.23	原案可決
	土浦市議会議会運営委員会委員の選任について			選 任
	土浦市議会議長の選挙			選 挙
	閉会中の事務調査について	3.3.23	3.3.23	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

電子採決の結果 反対討論のあった議案は、電子採決を行い、採決を行います。本定例会では、下記の議案について反対討論があったため、電子採決をおこないません。

議案等名	議員名	議員名																		賛成	反対	結果								
		目黒英一	平石勝司	吉田千鶴子	福田一夫	田子優奈	久松 猛	奥谷 崇	矢口勝雄	勝田達也	塚原圭二	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂 博	篠塚昌毅	柴原伊一郎	海老原一郎				柳澤 明	矢口 清	吉田博史	寺内 充	柏村忠志	内田卓男		
受理番号2	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	5	採 択
議案第7号	土浦市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20	3	採 択
委員会提出議案第2号	最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	6	採 択

賛成…○ 反対…× ※賛否が分かれた案件のみを掲載。 ※議長(篠塚昌毅)は、採決に加わらない。

○土浦市選挙管理委員会補充員  
 本橋 恵子 氏①  
 中野 秀彦 氏②  
 栗栖 宣博 氏③  
 櫻井 卓 氏④  
 (数字は補充員の順位)  
 が当選されました。

○土浦市選挙管理委員会委員  
 小泉 光正 氏  
 横山 和裕 氏  
 羽成 祐一 氏  
 小澤 依里 氏

土浦市選挙管理委員会  
 委員及び補充員の選挙  
 について

○土浦市監査委員  
 内田 卓男 氏

議案第36号  
 土浦市監査委員の選任の  
 同意について

○土浦市教育委員会教育長  
 入野 浩美 氏

議案第35号  
 土浦市教育委員会教育長  
 の任命の同意について

請願・陳情審査結果表

受理番号	受理月日	区分	要 旨	付託委員会	結 果
1	3.2.3	陳情	35人学級を早急に実現し、さらなる少人数学級の実現を求める意見書に関する陳情書	文教厚生委員会	採 択
2	3.2.19	請願	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	産業建設委員会	採 択

今定例会では、請願1件、陳情1件の審査を行い、いずれも採択となりました。

採 択 2 件

請 願・陳 情 の 結 果

# 会派代表質問

会派代表質問は、市長の市政方針や予算編成方針等に対し、会派を代表した議員が質問を行うものです。質問ができる会派は、所属議員が2人以上の会派で、質問者は、各会派1人です。



郁政クラブ  
小坂 博

## 質問内容

- ① へばエクスプレスの土浦市内への延伸についてはエクスプレスの土浦市内への延伸は多くの土浦市民が望んでいます。市の取組みについて伺います。  
① 近隣地域も含め広範な世論形成が必要ではないのか  
② 長期目標として位置づけることが必要ではないのか
- ② スマートインターチェンジの設置について  
スマートインターチェンジ設置可能性検討事業についてどのように進めていくのか予算等も含めて伺います。  
② 地域生活の充実及び地域経済の活性化を目指すところですが、どのような効果が見込めますでしょうか
- ③ JRR常磐線沿いの真鍋新町15号線の幅員拡幅による歩道の整備について  
真鍋新町15号線等の幅員拡幅はどうか整備するかどうか伺います。

- ## 郁政クラブへの答弁
- ① 本市も加入している茨城県つくばエクスプレス等整備利用促進協議会を有効活用し、国、県、首都圏新都市鉄道株式会社、関係機関等へ鋭意働きかけたい。
  - ② 第9次土浦市総合計画の中で、検討してまいります。
  - ③ ① 利用交通量の推計や、整備効果の検討などを行うため、新年度予算案に1390万円の調査費を計上している。国、県など関係機関とも継続して協議を行いながら、事業化に向けて必要な検討を進めてまいります。
  - ② 高速道路の利便性向上、周辺道路の混雑緩和、防災機能の強化等による地域生活の充実、商業・観光の振興、物流効率化、企業立地魅力向上などによる地域経済活性化などが期待される。
  - ③ 道路に隣接する排水路の整備は困難であるが、路肩と水路の離隔距離があることで、交通の安全性について慎重に検討したい。



公明党  
土浦市議団  
平石 勝司

## 質問内容

- ① 市政の運営方針と主な施策の概要について
  - ② 土浦市における新型コロナウイルスワクチン接種について
  - ③ GIGAスクール構想について
  - ④ 35人学級について
  - ⑤ 「自転車のまち」づくりに向けて
- ## 公明党土浦市議団への答弁
- ① 新型コロナウイルスから市民の健康、生活、そして命を守ることを最優先しつつも、同時にウイルスコロナ、ポストコロナという新しい時代に対応するため、中長期的な視点に立って、社会経済情勢のあらゆる変化に、柔軟かつ的確に対応していくことが大切だと考えている。市民サービスの維持と財政負担の平準化の両立に取り組む

- ② 本年度から児童生徒一人ひとりがICTを積極的に活用した教育が受けられるよう、端末の整備に向けた準備を進めており、同時に全ての小中学校及び義務教育学校の、校内のネットワークについても、国の補助を活用し、高速大容量のネットワーク環境への切替えを行い、今年度末までに工事が完了できるように進めている。
  - ④ 段階的に35人学級を進めていく。
  - ⑤ テーマ性・ストーリー性を持った魅力ある観光地域のネットワークを強化し、各自治体が持つ観光資源や魅力を最大限に活かした、土浦市内のみにとられない地域全体が一体となった観光ルートの企画に取り組んでまいります。
- む一方で、優先課題への財源の重点化を図ること、「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けた、予算案の編成を行うことができました。
- ② 個別接種については、土浦市医師会の協力の下、現在約70医療機関がワクチン接種にご協力をいただける見通しとなっている。集団接種については、土浦市保健センター及びイオンモール土浦の2か所を実施する計画としている。会場に行くことが難しい障がい者や寝たきりの方などへの対応については、主治医の訪問接種を基本としていきたい。
  - ③ 新年度から児童生徒一人ひとりがICTを積極的に活用した教育が進められるよう、端末の整備に向けた準備を進めており、同時に全ての小中学校及び義務教育学校の、校内のネットワークについても、国の補助を活用し、高速大容量のネットワーク環境への切替えを行い、今年度末までに工事が完了できるように進めている。



政新会  
寺内 充

## 質問内容

- ## 令和元年第四回議会において質問した点に対する成果及び進捗状況について
- ① 中心市街地活性化の取り組みについて
  - ② 公共交通の見直しの取り組みについて
  - ③ 工場・企業誘致の新たな取り組みについて
  - ④ ごみ袋の低料金化とごみ収集の取り組みについて
  - ⑤ 川口二丁目の水辺の空間の取り組みについて
- ## 政新会への答弁
- ① サイクリング需要の取り込みを引き続き行いつつ、ポストコロナを見据え、第2期中心市街地活性化基本計画に位置付けた各種施策を推進することで、中心市街地のさらなる魅力の向上と、にぎわい創出を図るとともに、新しいまちづくりへのチャレンジにこましても、積極的に進めてまいります。

- ② 新年度、地域公共交通網形成計画の改定を行い、まちづくりと連携した各公共交通が相互に補完し合うネットワークの構築を図り、誰もが利用しやすい、持続可能な公共交通網の実現に向け取り組んでまいります。
- ③ 土浦北・桜インターの各インターチェンジや、幹線道路周辺における民間事業者のニーズを把握しながら、地区に応じた手法を検討し、企業立地を推進してまいります。
- ④ ごみ袋の価格については、市民のご理解とご協力により、ごみの減量が計画的に進んでいることや、家庭の経済的負担の軽減を考慮し、令和3年10月1日から値下げをすることとしている。
- ⑤ ごみの収集事業については、引き続き検討していきたい。
- ⑤ 「霞ヶ浦を身近に感じる観光・レクリエーション拠点として、土浦の魅力を存分に味わうことができる場所となるよう、引き続き、水辺空間への民間活力導入をすすめてまいります。



日本共産党  
土浦市議団  
久松 猛

## 質問内容

- ① 新型コロナウイルス接種について
- ② 県実施予定の福祉施設等従事者への抗原検査における本市各施設従事者への検査実施計画について
- ③ 地方創生臨時交付金の活用についての提案

- ## 日本共産党土浦市議団への答弁
- ① 国のワクチン確保の状況に関わらず、3月中旬には、集団接種会場での医療従事者への接種体制を確立するとともに、同様に市民への接種体制も3月下旬には可能となるように準備を進めている。
  - ② かかりつけ医である医療機関での個別接種を基本として、併せて本市が運営する集団接種を実施してまいります。
  - ③ 現在約70の医療機関がワクチンにご協力をいただける見通しであり、個別接種の割合は約7割を想定している。
  - ④ かかりつけ医、主治医に連絡のうえ、主治医が訪問し、接種する方法を考えている。それが困難な場合は、ワクチン接種の協力医師による巡回接種を検討してまいります。
  - ⑤ 土浦市内の入所系の施設については、全て網羅してPCR検査をやっている。
  - ⑥ コロナの感染状況や、深刻な打撃を受けている本市経済の状況を踏まえ、市民の皆様や事業者の皆様にとって、そのような方策が最善なのかを見極めながら、総合的に検討してまいります。

# 一般質問



柏村 忠志  
〈一問一答〉

「認知認定者、および介護者条例」(仮称)の検討  
・調査を行うべきとき考えるがいかがか。

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を二つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では、二括質問・一括答弁方式を選択した議員が5名、一問一答方式を選択した議員は3名おりました。



奥谷 崇  
〈一括質問〉

1 カスタマーハラスメント(悪質クレーム)対策について  
コロナ禍の現在、エッセンシャルワーカーに対するカスタマーハラスメント(悪質クレーム)が全国的に増加している。関係団体や各種団体と連携した啓発活動、消費者教育を推進すべきとき考えるが、市長の見解を伺う。

2 行政におけるデジタル化の推進について  
G I Gスクール構想の進捗状況について、次の点を確認する。  
①機器の管理、ソフトウェアの更新への対応  
②教職員の負担増加に対する対応について  
③通信環境未整備の家庭への支援について

## A

【副市長】

高齢化の進展に伴いまして、認知症高齢者の人口は増加を続け、全国では平成24年の462万人から、令和7年には約700万人前後となり、上昇する見込みとなっております。国では、令和元年に認知症施策推進大綱を策定しており、本市においては、この国の大綱に基づいて、認知症ポーターの養成事業、認知症が疑われる人や家族に対して、集中的に初期支援を行う認知症初期集中支援チームの運用事業、認知症力F Eの運営事業、地域の見守りネットワークの構築事業等の各種事業を推進してまいります。基本法案を始めとして、国の動向を注視しつつ、他の自治体の先進事例を参考に、本市における認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための具体的な指標について、調査・研究を行ってまいります。それとともに、各種事業を推進して、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の、良い環境で、自分らしく暮らしていただける社会の実現を目指してまいります。

## Q

【その他の質問】

○「土浦全国花火競技大会」の代替地として、霞ヶ浦流域下水道事務所埋め戻し用仮残土置き場(略称「仮残土置き場」)の活用について、茨城県と交渉を行うべきとき考えるがいかがか。  
○霞ヶ浦の汽水湖へ向けての課題を伺う

## A

【市長】

1 令和2年2月に、市民が安心して、安全で、豊かな消費生活を営むことができる社会の実現に寄与することを目的として、土浦市消費者教育推進計画を策定いたしました。計画では、社会の安定と持続可能性の確保のため、消費者が自らの意思決定や、消費行動がもたらす影響と、社会的役割を自覚し、社会の担い手としてモラルとマナーを備え、そしてその市民として行動する消費者の育成の必要性を位置付け、ライフステージや特性に応じた教育の提供や、各関係機関との連携、及び相互支援などを、基本的な方向といたしました。今後、計画に基づき、庁内関係部署及び関係機関との相互支援の下、学校や地域において、体系的に消費者教育を実施するとともに、消費者の権利と責任について啓発、周知することにより、持続可能な社会の構築に努めてまいります。

【教育部長】

2 ①本市では、5年間の賃貸借契約に基づき、端末及び周辺機器の保守を行います。端末自体の管理につきましては、各学校で管理することとなります。  
②各種ツールの基本操作が学校間、先生間において差が生じないよう、集合またはオンラインの研修会を新年度初めに開催する予定であります。  
③昨年、貸出用のモバイルWi-Fiルーターを市全体で3000台購入し、長期休業中や臨時休業時にも、家庭でのオンライン学習の機会が確保できるよう、各小中学校及び義務教育学校に配備を完了しております。ただし、貸出期間中の通信費用につきましては、児童生徒の家庭での学習利用と私的利用については、明確に区分けすることが難しいため、現時点におきましては利用者の家庭で御負担いただく考えでございますので、御理解いただきま

## Q

企業誘致の考え方について伺う

①コロナウイルスと共存していかなければならない現状において市の企業誘致戦略をどう考えているのか。  
②テレワークの拠点づくりの考え方を検討してはどうか。



鈴木 一彦  
〈一問一答〉

## A

【都市産業部長】

①県の充実した支援制度とともに、市独自の「企業立地促進奨励金」に加え、立地企業のインフラ整備の費用の一部を助成する企業立地促進補助金を新年度予算案に計上させていただきます。県や関係機関と緊密に連携を図りながら積極的に取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症は、企業誘致や働き方を確実に変化させており、ポストコロナ時代に向けた変化の予兆が随所に出始めております。本市といたしましては、新年度から一貫関連企業など、新たな成長分野の企業に対し、市内のオフィス移転を促進するため、O A F P R A整備や一環環境整備に係る費用の一部を助成する「一貫オフィス環境整備補助金」を新年度予算に計上させていただきます。県との連携を図りながら、新たな企業誘致につながる取組を展開してまいります。  
②本市は、都内への通勤・通学圏内に位置し、常磐線品川乗り入れ便の増便等によりまして、利便性が向上しており、第2期土浦市まち・ひと・しごと創生ビジョンの基本施策に「選ばれるまちとしての魅力、その創造と定住のきっかけづくり」の位置づけがございます。つきましては、本市が「選ばれるまち」となるための大きなきっかけとなり、将来の人口ビジョンの達成に向けた定住人口・関係人口の創出にもつながるよう、今後テレワークなど働き方の変化を図り背景とした新たな需要を捉えながら、多様な働き方のできる環境づくりの検討を進めてまいります。

## Q

【その他の質問】

第二次水道基本計画策定の概要について、主に水道ビジョン及びアセットマネジメント並びに経営戦略の内容と水道施設の更新と水道料金について



目黒 英一  
〈一括質問〉



**1 ヤングケアラーへの支援について伺います**

- ① 土浦市のヤングケアラーの実態
- ② 土浦市のヤングケアラーへの支援

**2 ケアラー支援条例について**

ヤングケアラーを含む介護者を支援する条例等を作る考えはあるのか。

**3 きょうだい児について**

- ① 土浦市のきょうだい児の実態
- ② 土浦市のきょうだい児支援



**【保健福祉部長】**

1 ヤングケアラーは表面化しにくく、把握しづらい実態となっておりますが、国のガイドラインに基づき支援が必要な子どもとその家族に対して支援をしております。

2 茨城県の動向を注視しながら調査研究をしております。

3 学校の先生が各家庭に直接介入しづらいため、現状では完全に把握することは難しい状況ですが、今後子どもたちの学ぶ権利が守られ、将来の夢や希望が実現できるよう、しっかりと取り組んでまいります。



**その他の質問**

- 高齢者の安全対策について
- プリビュアの削減・リサイクルの取組みについて



**1 市民サービスの重要な要素である「窓口対応」について**

- ① 市民サービスの重要な要素である「窓口対応」についての考えについて伺います。
- ② 市民サービスを重視する為に、部署を連動させる横断的制度的取組みについて伺います。

**2 土浦市公式ホームページが昨年リニューアルされましたが、その内容について伺います。**

- ① リニューアルの主な内容について
- ② 検索ヒット率の改善内容について
- ③ 今後、更にホームページを使いやすくしていく計画の有無について



**【市長公室長】**

1 窓口業務は、行政サービスの根幹をなすもので、まさに市役所の顔となることから、職員一人の対応いかによっては、瞬時に市役所全体に対する市民の皆様信頼を著しく損なう、極めて大切な業務であると認識をしております。

2 戸籍等の証明書を発行する市民課と国民健康保険に関する手続や、介護保険証の返却といった福祉関係の窓口において、市民の皆様の利便性を第一と考え、まして、ワンフロアで手続をしていただけるよう総合窓口を本庁舎1階に配置しております。

2 今回のリニューアルの目的でございますが、多くの皆様へ本市の魅力を発信できるよう分かりやすく使えやすいデザインをコンセプトに、操作性においての工夫も行いました。研修など、職員のホームページ運用に係る意識啓発に努めてまいります。



**再質問 窓口対応について、具体的な取組はないか。**

**【市長公室長】**

市民の皆様の御意見、御要望に真摯に耳を傾けて、市民の皆様の立場に立つて考え行動するため若手職員を中心に、幹部職員もそういった研修を受けておりますが、もう一度振り返りながら意識啓発これに努めていきたいと思っております。



**その他の質問**

- 市民サービスの基本について
- 市民サービスの向上に重要である、広報広聴制度の充実について



今野 貴子  
〈一問一答〉



**国民健康保険税子ども均等割について**

国は、2022年度4月から未就学児にかかる均等割額の5割を軽減することを決めた。本市では独自に、5割軽減する年齢を拡大すべきと考ええるがどうか。



**【保健福祉部長】**

5割軽減の年齢を市独自に拡大するとした場合、国や県からの財政支援がないため、さらに小学生までで1950万円、中学生までで5200万円、18歳までで931600万円の費用が経常的に必要になります。この費用については、原則として、一般会計からの繰入れが認められないものとなることから、その軽減分をその他の被保険者の国民健康保険税の増税により賄わざるを得ない状況です。近年、被保険者数の減少、さらに、医療の高度化に伴う1人当たりの医療費の増加などの影響から、国保財政の安定化が大きな課題となっており、その他様々な課題も含めて総合的にシミュレーションを行う必要があるため、今後も最善の方策を見いだせるよう検討してまいります。



**再質問**

**国保の均等割減免は、子育て支援策として有効性の考えはあるか。**



**【保健福祉部長】**

国保の均等割減免は、子育て支援策には有効と考えます。国保財政の安定化、保険税水準の統一など様々な課題があり、加えて、今般の新型コロナウイルス感染症により、先の見通せない状況が続いていることから、基金の活用についても、様々な課題があります。検討はしてまいります。



**その他の質問**

- 加齢性難聴者への補聴器購入助成について
- 市内公園に設置されているトイレについて



田子 優奈  
〈一括質問〉



矢口 勝雄  
〈一括質問〉

公共車の環境対応について

- ① 現在市が保有する公用車の状況を伺う(消防車両などの作業車は除く)
- ② 平成21年に県内自治体で初めて導入された電気自動車について伺う
- ③ 今後の公用車の選定方針を伺う

先般国から、2030年代半ばまでに全ての乗用車を電動車に、2050年までにカーボンフリーを実現するとの指針が示されました。本市としても率先して取り組む必要があると考えます。耐用年数を考慮する観点から、どの程度でも取り組まなければならないと思いますが、考えを伺います。また、災害時に電源供給が出来るという点でも、電動車を導入する価値があると思いますが、認識を伺います。

A

【市民生活部長】

- ① 消防車両などの作業車以外の本市の公用車の保有状況につきまして、令和3年2月末現在で210台です。耐用年数はおおむね15年を考慮しており、車両の更新や維持管理に係る費用を合わせた総費用は、令和2年度約4300万円で、市の全体予算の約0.05パーセントになります。
- ② 11年間のランニングコストは、車検や法定点検、タイヤ交換などの整備費用を合わせ、約83万円のコストとなります。現在のバッテリーの残容量は70パーセント程度で、1充電走行距離は70キロメートル程度です。走行時に温室効果ガスを排出しないため、環境面で利用価値を見いだせるかと考えております。

【市民生活部長】

- ③ 本市では、土浦市地球温暖化防止行動計画等を定め、環境対応車の導入を掲げており、地域の環境リダーとして率先して行動する必要がありますと考えておりますが、現時点では充電設備や技術的な課題等もあることから、公用車の買換え時には、今後の開発状況や費用対効果等を検討したうえで、電動車を導入してまいりたい。

【総務部長】

電気自動車の活用の具体例としては、避難所では、出入口の照明や携帯電話の充電用の電源が確保できるほか、動く電源として様々な場所での円滑な給電が期待できます。今後、地区公民館など避難場所になる施設の公用車を更新する際には、順次、電気自動車等へ切替えが進むよう、車両価格や使用目的、技術開発の動向を踏まえまして検討してまいりたい。

【その他の質問】

穴塚大池周辺の里山について

Q



塚原 圭二  
〈一括質問〉

災害時避難所設置について

- ① 改めて避難所設置の条件について 自主避難所、特定避難所等
- ② コロナ禍におけるソーシャルディスタンス確保の対策はどうか
- ③ 各公民館における防災倉庫の設置の進捗は

② 空き家対策について

- ① 市内の空き家の現状として、空き家総数、対応可能な空き家、対応不可の空き家の総数はどの程度あるか
  - ② 特定空き家の認定方法と今後の取り組みについて誰が認定しどの様に対応を行うのか伺う(現在の認定数含む)
  - ③ 空き家バンクの進捗と今後の取り組みについて
- 以前の質問で今後調査研究として進めるとの解答であったが、その後はどの様になっているか伺う

A

【総務部長】

- ① 地震の場合については、市域で震度5弱以上を観測した際に、指定避難所を自動開設することとし、風水害、土砂災害の場合については、災害対策本部等の判断によりまして、開設する避難所と開設時間を決定することとしています。避難所での感染リスクを軽減するためには、密集状態を防ぐことが大変重要となります。本市では、自然災害が発生した場合の、感染症との複合災害に備えるため、市民に対して分散避難を推奨すること。これまで以上に避難スペースを確保すること。避難所での感染予防を徹底することの3つの基本対策を掲げております。各地区公民館は、指定緊急避難場所に位置づけられているほか、災害の状況に応じて自主避難所として活用する施設で、一時的に身を守る場所としていますが、令和元年の台風19号の際の教訓を踏まえ、非常食と防寒用のアルミシートを配備しています。

【市民生活部長】

- ② 令和2年12月末現在、市が把握している空き家等は、675件で、管理不全な状態となっている空き家等は362件です。これら空き家等は個人の財産であることから、所有者等に管理の責任があります。特定空き家等につきましては、外部の有識者などで構成する土浦市空き家等対策協議会で定めた判断基準に基づき、市内の関連部署で組織する土浦市空き家等対策庁内推進調整会議での認定の可否の協議結果を基に、市長が認定をしており、12件を特定空き家等と認定しております。本市の空き家バンクの取組については、国土交通省において構築支援を行い、平成30年4月から本格運用を行っている全国版空き家バンクに登録申込みを行い、公益社団法人全日本不動産協会茨城県本部及び公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会との協定締結など、本年4月からの開始に向け、現在準備を進めています。



土浦市議会のICT推進

タブレット端末を導入

現在の情報化社会において、効率的で迅速な議会運営、議案審議及び情報の共有、会議資料等のペーパーレス化によりさらなる議会改革を推進するためにタブレット端末を導入しています。

令和3年から常任委員会の議案審査や、本会議における資料も、タブレット端末の運用を始め、第2回定例会からの完全ペーパーレス化を図ります。



タブレット端末を使用した会議システムの研修の様

令和3年第2回定例会日程 (※最新情報はホームページにて掲載)

日	曜	開議時間	
5/21	金		招集告示・議会運営委員会
22	土		
23	日		
24	月		一般質問通告受付開始
25	火		一般質問通告締め切り
26	水		
27	木		
28	金		請願・陳情受付締め切り
29	土		
30	日		
31	月		
6/1	火	午前10時	本会議 (招集日)
2	水		休 会 (議案等の調査)
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	午前10時	本会議 (一般質問) 議案質疑通告締め切り (午後1時)
8	火	午前10時	本会議 (一般質問)
9	水	午前10時	本会議 (一般質問・議案質疑)
10	木		休 会 (常任委員会)
11	金		
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		休 会 *討論通告締め切り
17	木	午前10時	本会議 (最終日)

議会史  
『土浦市議会五十年のあゆみ』  
の有償頒布

新庁舎への移転にあたり、土浦市議会では「土浦市議会五十年のあゆみ」を有償で頒布いたします。

これは市制施行50周年の後、土浦市議会として初めて刊行した議会史で、市制施行から50年間にわたる市議会の活動記録が詳細にまとめられております。国内外の出来事

なども年代ごとに掲載されており、当時の時代背景を回想するにも最適な1冊かと思えます。

また、別冊の写真集もセットとなっております。市が誕生する以前、明治時代からの土浦の発展の様子がうかがえる大変貴重な写真が約800枚も掲載されておりますの

で、これを見ながらお子さんやお孫さんに土浦の歴史をお話しされるのも一興ではないでしょうか。

頒布冊数に限りがあり、先着希望者のみとなりますが、頒布価格と申込方法は次のとおりです。



【頒布価格】1セット 3,000円  
(発刊当時定価1万6,500円)

【申込方法】購入ご希望の方は、左記までご連絡ください。

【連絡先】土浦市議会事務局  
☎(0286)1111  
内2277



議会報告会は動画配信により開催(近日配信開始予定)

新型コロナウイルス感染症の対策を検討し、令和2年度分の議会報告会につきましては、動画の配信により、実施することといたしました。初めての試みではありますが、準備が整い次第、市議会ホームページから視聴できるよう進めてまいりますので、ぜひ、ご視聴ください。ご意見お待ちしております。

土浦市議会 議会報告会

インターネットで上記の字句で検索いただくか、右の二次元コードから市議会ホームページの議会報告会の項目をご覧ください。



【編集後記】

現在、新型コロナウイルス感染症により、多くのイベントなどが中止になりました。今こそ政治・行政が判断し、決断し、実行することが求められています。何を最優先に行動するべきなのか、議員の資質が問われる時でもあります。コロナ収束の兆しは未だ見えませんが、市民に寄り添った議員活動を行い、明るい未来を期待すると共に、住みやすい土浦になることを目指します。

(委員 吉田 博史)

広報広聴委員会

- 委員長 島岡 宏明
- 副委員長 勝田 達也
- 委員 吉田 博史
- 委員 吉田 千鶴子
- 委員 海老原 一郎
- 委員 平石 勝司
- 委員 今野 貴子
- 委員 塚原 圭二
- 委員 目黒 英一